

# 首切り・賃下げの「大リストラ」は認められない

日本郵政社長

日本郵便社長

## 全ての責任は斎藤・鍋倉にある

### 民営郵政破産のツケを現場におしつけるな

郵便局で働く労働者のみなさん。年末年始繁忙で苦勞様でした。昨年12月31日の『東京新聞』に「日本郵便大リストラを検討」という記事が掲載されました（別掲）。そして1月8日の朝刊各紙には、日本郵政・斎藤社長が郵便局会社も含めた「社員の給与やボーナスの引き下げを含めた人件費削減や人員配置の見直しを検討している」と記者会見を行ったことが報じられました。

とんでもありません。赤字の責任は、全て経営陣にあります。現場の反対の声を押しつぶして、JPEX子会社化と宅配便統合を強行した斎藤社長や鍋倉社長ら経営陣に一切の責任はあります。赤字の1円たりとて俺たち労働者のせいではありません。正規・非正規労働者が団結してこの大リストラ攻撃をうち破りましょう！

分会で首切り・賃下げ  
反対の意見をあげよう！

会社が打ち出した大リストラ計画は、民営化の破産のツケを全て

労働者への首切りと賃下げ攻撃で乗り切ろうというものです。断じて認めることは出来ません。計画では、1月11日から人件費

の大幅削減のため正社員の超過勤務

務の禁止や短期アルバイトの雇用延長禁止、さらに10数万人の期間雇用職員の首切りや正社員の賃金カットを行うといつのです。

ふざけるな！ 非常勤の労働者を低賃金で散々こき使ってきたあげく、まるでモノのように使い捨てにするなど絶対に許せない。そして非正規雇用を切ったら、次は正規雇用を切り捨てにかかるとは、今JALで起きていることを

見ても明らかです。「これだけ非正規を整理しても経営改善しないから」といって、次は正社員の首切りを行ってくるのです。非常勤を切る一方で「超勤禁止」

だという。それは殺人的な労働強化とサービスクレジットの強要が始まるといつのです。

それがいやなら辞める、という攻撃です。



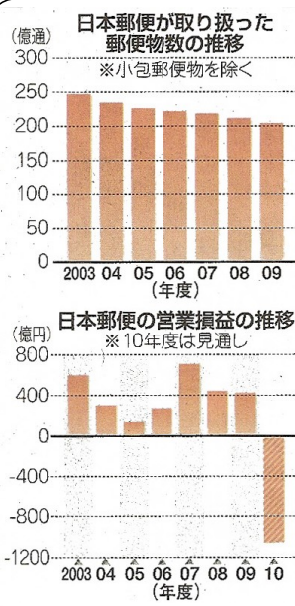
労働者は団結して闘おう！

別掲の東京新聞の「営業損益の推移」のグラフを見てください。郵便事業会社は昨年度まで赤字でした。ところが一転して10年度は大幅赤字といつのです。

### 日本郵便、債務超過の恐れ

社長発言 大リストラを検討

日本郵政グループの削減計画を検討している。日本郵便は来年一郵便事業会社（日本郵便）が債務超過に陥る。日本郵政からは削減額の上積みを含め、総務省へ報告する。削減計画は来年一郵便事業会社（日本郵便）が債務超過に陥る。日本郵政からは削減額の上積みを含め、総務省へ報告する。削減計画は来年一郵便事業会社（日本郵便）が債務超過に陥る。日本郵政からは削減額の上積みを含め、総務省へ報告する。



『東京新聞』 12月31日の朝刊・1面

日本郵便が公表した二〇一一年三半期の業績は、営業利益は二十五億円の赤字、純損益は五百四十億円の赤字。純資産合計額は九月末時点で千六百七十六億円に脱出しようとして訴えた。日本郵便が公表した二〇一一年三半期の業績は、営業利益は二十五億円の赤字、純損益は五百四十億円の赤字。純資産合計額は九月末時点で千六百七十六億円に脱出しようとして訴えた。

債務超過 企業の負債（銀行借り入れなど）の総額が、資産（預貯金や在庫、設備、土地など）の総額を超える状態。つまり資産をすべて売却しても負債を返済しきれない状態を指す。借入金がない日本郵便の場合、負債は1兆6800億円、資産は1兆6800億円を超過している。この超過額が7割弱を占める。

この原因がJPEX統合の破産にあることは誰にも明らかです。にもかかわらず会社・経営陣は一切の責任をとらずに、自らが作り出した赤字を理由に労働者の首切り・賃金カットを行うといつのです。非正規同士、非正規と正規として正規同士と労働者に分断と競争を持ち込み、団結を破壊して次つぎと首切りつとすること

全国労組交流センター 全通労働者部会

東京都台東区元浅草2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5階  
Tel 03(3845)7461 Fax 03(3845)7463  
URL: http://www.k-center.org E-mail: centergo@nifty.com

2011年 1月11日 発行

(ピラの感想や職場状況など、またピラに載せてほしいことなどを、気軽にお寄せください。電話・メールどちらでも結構です。)

# JP労組を現場からつくりかえよう

**もう一方の責任は  
JP労組中央本部にある**

齋藤社長は7日の記者会見で「労働組合と協議したうえで収支改善策をまとめ、今月28日に総務省に報告する」と言っています。

そうです、郵政民営化とJP EXを会社資本と一体となつて推進してきたのがJP労組中央本部です。09年の第3回中央委員会と第2回定期大会で山口前委員長は、「宅配便の事業統合は、成長が期待される『戦略的な子会社化』」必要な労働力確保に万全をつくすと、JP EXへの組合員の出向に

JP労組本部が協力することを公言しました。また、毎回の中央委

員会や定期大会の議案書では、JP EXに郵便局の未来があるかのように言ってきたのです。

労働組合が協力しなければ、民営化も非正規化もできません。こんな郵政にしてしまった一方の張本人が、JP労組中央本部です。

そしてついにJP労組中央本部は、現場労働者を抑えつけ、首切り・賃下げに協力しようというのです。断じて認められません。中央本部を徹底的に弾劾し、これを打倒して労働組合を現場労働者の手にとりもどすときです。

**労働組合の主人公は俺たちだ**

2月17・18日にJP労組中央委員会が予定されています。



動労千葉は昨年12・3～4とJR検査修繕部門の・構内業務の全面外注化に反対してストライキを行い、組織を拡大した(12/3幕張車両センター)



解雇撤回まで闘いぬく！ JAL労働者が演壇に勢ぞろいして闘争宣言を發した(昨年12月24日の総決起集会、大田区産業館P10にて)

JP労組中央本部は、会社の大量リストラ提言を受け入れて、大幅な賃金・退職金切り下げの「新人事・給与制度」の導入を認めようとしています。そして、より一層の人減らしと非正規化、そのための郵便局の全職種の外注化・子会社化を認めようとしています。絶対に認められません。

労働組合の主人公は、俺たち現場組合員です。「非常勤労働者の雇止め解雇反対」「賃金・一時金のカット反対」「本部は現場組合員の声を聞け」と、分会・支部から意見を上げていきましょう。

**集配外注化反対！ 国鉄  
闘争全国運動で闘おう！**

今、闘わない労働組合本部を現場からつくりかえる闘いが次々と開始されています。国鉄分割・民営化に対してストライキで闘いぬく動労千葉は、昨年4月1日の検査業務外注化を阻止しました。そして今なお外注化を阻止し続けています。

対しては、本部を乗り越えて現場労働者が闘いに立ち上がっています。また、JALの170名もの整理解雇攻撃には、1月中にも百名をこえる解雇無効の集団提訴が行われます。



昨年4月9日の国鉄1047名闘争の政治和解という戦後労働運動を解体する攻撃に対して、動労千葉と国労闘争団員有志が解雇撤回・民営化絶対反対を貫いて闘っています。そして今、動労千葉を先頭に多くの労組・人士の呼びかけの下で新たな国鉄闘争全国運動が広がっています。国鉄分割民営化こそが一切の民営化・合理化攻撃の元凶です。民営化攻撃と対決し、新自由主義をぶち破る国鉄1047名解雇撤回の国鉄闘争全国運動が勝利の道です。

郵便局で働くすべての労働者のみなさん。今こそJP労組を私たち自身の手で一から作り直すときです。JP労組を闘う労働組合に変えることが大リストラを阻止する道です。未加入の労働者も加入して、JP労組を現場から作りかえよう。

**国鉄1047名解雇撤回！**

**2・16 国鉄集会**

【日時】2月16日(水) 18時30分  
【会場】すみだ産業会館  
【主催】国鉄闘争全国運動

地域の合同労組に連絡をください！ ●東京東部ユニオン(葛飾区新小岩2-8-8クリスタルハイム302号 TEL:03-6410-4329 FAX:03-6410-4369 Eメール:tobuunion@grace.ocn.ne.jp) ●東京西部ユニオン(杉並区天沼3-6-1深澤ビル402 電話&FAX:03-3220-7473 Eメール:seibu-union@mocha.ocn.ne.jp) ●なんぶユニオン(品川区大井1-34-5河野ビル3F Tel&Fax:03-3778-0717 Eメール:nanbuunion@yahoo.co.jp) ●東京北部ユニオン(豊島区西池袋5-13-10 ハイマート西池袋603号 TEL&FAX 03-6914-0487 Eメール:tokyohokubuunion2010@yahoo.co.jp) ●ユニオン東京合同(千代田区三崎町2-17-8皆川ビル301「朔」 気付 電話&FAX:03-3262-4440 Eメール:info@union-tg.org) ●合同労働組合八王子(八王子市明神町4-14-5リーベンスハイム2-203 電話&FAX:042-644-9914 Eメール:gorohachi2007@gmail.com) ●ちば合同労働組合(千葉市中央区要町2-8DC会館内 電話:043-225-2207 Eメール:chiba\_goudou@yahoo.co.jp) ●合同労組かながわ(横浜市中区長者町8-136 米屋ビル303 電話&FAX:045-242-1055) ●さいたまユニオン(電話:090-9825-0184 Eメール:norikakomaru@t.vodafone.ne.jp)